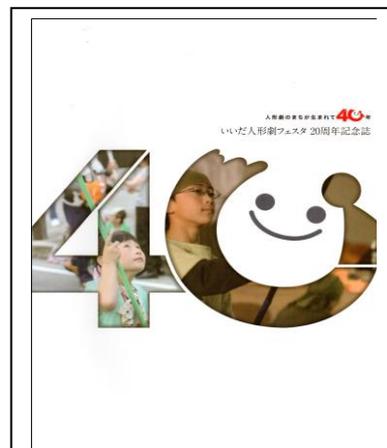


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「いいだ人形劇フェスタ」20周年記念誌発行事業
事業主体 (連絡先)	いいだ人形劇フェスタ実行委員会 (事務局：飯田文化会館 人形劇のまちづくり係 23-3552)
事業区分	(3) 教育、文化振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	799,200 円 (うち支援金：599,000 円)

事業内容

- 1 記念誌編集委員会の実施 5回
実行委員会の実行委員とサポートスタッフで組織。
- 2 記念誌の発行
A4 16ページ フルカラー 30,000部
- 3 記念誌の配布
 - (1) サポートスタッフへの配布
 - (2) いいだ人形劇フェスタ、プレフェスタで観劇者に配布。参加劇団への配布



【20周年記念誌】

【目標・ねらい】

- ①いいだ人形劇フェスタの活動が地域の誇りであることの再認識
- ②人形劇に関わる子どもたち、市民が増える

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

参加者（みる 演じる ささえる）がフェスタの20年の活動実績を確認できる良い機会となった。市民の皆さんにとって、20年続いてきたいいだ人形劇フェスタを地域の誇りと感じてもらうきっかけとなる事業となった。

人形劇創造支援事業への参加者、サポートスタッフの人数は平成31年度参加者の増を目標値としているため効果は未定。今年（H30）はサポートスタッフの参加は前年対比約22%増となった。

※自己評価【 B 】

【理由】

参加者のみなさんがフェスタの20年の活動実績を確認できる良い機会となった。市民の皆さんにとって、20年続いてきたいいだ人形劇フェスタを地域の誇りとより感じてもらえる機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

いいだ人形劇フェスタが10年先、20年先と「みる 演じる ささえる わたしがつくるトライアングルステージ」の基本理念のもと、継続発展し、市民の皆さんのさらなる誇りとなり、子どもたちに受け継がれていく活動として、また人形劇のまちいいだの核として形を変えつつも永遠に続いていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある